

 **今日のゴール** 間接疑問(I don't know what ~. / Do you know where ~?)を使って、クラスメイトの「意外なひみつ」を調査・報告しよう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

▼ 調査前(わからないことを共有)

I don't know **what Ken does on Sundays.**

Do you know **where Aya wants to go?**

▼ 調査後(報告)

Now I know **what Ken does on Sundays!** He climbs mountains with his father!

間接疑問は〈疑問詞＋主語＋動詞〉の語順。I don't know ~ (調査前)が Now I know ~ (調査後)に変わるのがこの活動のドラマ。

STEP 2 使える表現(この中から選んで使おう)

I don't know what [where / when] ~.

Do you know ~?

Now I know ~!

Can you tell me ~?

I found out (that) ~.

STEP 3 調査したい「クラスメイトのなぞ」を2つ、間接疑問の形でメモしよう。

なぞ①	
なぞ②	

STEP 4 調査前の文(I don't know ~.)を2文書こう。調査後、Now I know ~! に書きかえる。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

クラスのひみつ調査団【つたえる・ふりかえる】

Class _____ No. _____ Name _____

STEP 5 調査タイム→報告会。なぞを本人に直接インタビューして解決しよう。

できたらチェック：

- ☐ ① 教室を歩いて、なぞの本人にインタビュー（質問は直接疑問文でOK: What do you do on Sundays?）
- ☐ ② 答えがわかったら Now I know ～! に書きかえる
- ☐ ③ グループで「いちばん意外だったひみつ」を報告（I found out that ～.）

自己評価 できたところに ○ をつけよう(正直に！)

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 先生のなぞにも挑戦！ Do you know how old our teacher is? ――聞きにくいところ、間接疑問のていねいさが活きる(答えてもらえるかは交渉しだい)。

先生へ(この教材のねらいと進め方)

ねらい:間接疑問の語順を、「知らない→調べる→知っている」という情報の変化の中で運用させる。直接疑問(インタビュー)と間接疑問(報告)の使い分けが自然に起こる設計。

進め方:なぞは「本人に聞けば分かること」に限定(プライバシー配慮を最初に一言)。I don't know ～ → Now I know ～ の書きかえが本時の心臓部。

見取り:〈疑問詞＋主語＋動詞〉の語順(×I don't know what does Ken do)／報告文の that 節。評価は裏面の4観点で。